

「ダブリングタイム・腫瘍進行予測計算機」のお知らせ

日本甲状腺外科学会の名誉会員である宮内昭先生がダブリングタイム計算ソフトを考案され、「ダブリングタイム・腫瘍進行予測計算機」"Doubling Time & Progression Calculator"と名付けられました。

サイログロブリンやカルシトニンのダブリングタイムが甲状腺癌患者の予後予測に有用であることは、以前から宮内先生が論文で報告されています。実地臨床でサイログロブリンやカルシトニンのデータがあっても、実際にダブリングタイムを計算することは簡単ではありませんでした。「ダブリングタイム・腫瘍進行予測計算機」"Doubling Time & Progression Calculator"はエクセルファイルで、日付と検査値を入力するだけで自動的にダブリングタイムが年、月、日の3つの単位で表示されます。これを使えば簡単にダブリングタイムを計算できます。甲状腺癌患者の予後予測のみならず、分子標的薬治療のタイミングを判断する指標のひとつとなります。

「ダブリングタイム・腫瘍進行予測計算機」"Doubling Time & Progression Calculator"は、宮内先生が院長をされている神戸市の隈病院のホームページからダウンロードできます。

平成 27 年 8 月 3 日

日本甲状腺外科学会理事長

今井 常夫